

## 令和4年度 相生学院高等学校 学校評価結果

構造改革特別区域法等の基準により相生市が設置の認可を行った相生学院高等学校について、令和4年度の学校運営全般の状況を同校から提出された資料、相生市教育特区学校設置審議会の意見等を参考に市として評価を行いましたので、その結果を次のとおり公表いたします。

		評 価 の 視 点	評 価	評 価 コ メ ン ト
評 価	各教科の状況	授業の状況 特別支援教育の状況 進路指導の状況	おおむね満足	特別支援教育の校内支援体制・個別の指導計画・教育支援計画について、学校の自己評価自体が低くなっているが、学習のケアや多様な身体・精神疾患のケアを必要とする多くの子どもたちの受け皿になるために、もう一度支援体制を見直して特別支援教育に力を入れる必要がある。
	生徒の状況	生徒指導等の状況 生徒の人格的発達の状況 安全管理の状況	おおむね満足	スクーリングの視察の中で、授業参観中に、大人が部屋入ってくことに驚き、不安を感じる生徒が見受けられた。特に配慮が必要な生徒に対しては、個々の生徒の状況に応じた適切な配慮が求められる。
項 目	学校管理運営の状況	組織運営等の状況 教育目標と学校評価の状況 設置者と学校の取組状況	おおむね満足	ICT導入など、通信手段の根幹を揃えた点については評価できる。現段階では、使用率が低いため、今後、さらなる周知と使用率アップを期待したい。 学校が行う自己評価は、保護者、生徒、教職員にそれぞれアンケートをとり、それを元に評価することで運営の改善点などさぐっていくものである。しっかりとアンケートをとり、多様な意見を反映させた評価が必要である。

評価項目	学校・家庭・地域の連携協力の状況	学校に関する情報公開の状況 学校と保護者・地域住民等との連携協力の状況 学校に対する生徒・保護者の意見・要望等の状況	おおむね満足	中学校の不登校の生徒を対象に、体験入学の実施や、オンラインを活用した学校体験などの取組みを行い家庭・地域と連携をすることを期待したい。 アンケートの回答率が低いため生徒や保護者、教職員、地域の意見・要望が、把握できていない。学校側で回答率が上がる方法を検討・実行し、さらに回答率を上昇させていく必要がある。
	学校設置による効果	学校が設置されたことによる経済効果	おおむね満足	送迎でバスをチャーターするなど努力はみられるが、目に見える効果があるとは言い難い状況である。引き続き特別活動や地域活性化へ向けた学校の特性を活かした独自の取組みに期待したい。
	市との連携協力の状況	市への現状報告及びセーフティネット対策の状況	おおむね満足	相生市との連携協力体制は、確立されていると思われる。
総括・課題	特別活動など、市内での企業訪問や、ボランティア活動など年々新たな取組みをしていることには評価できるが、なかなか地元住民に活動情報が伝わっていないので、積極的に情報発信をし、参加を募るなど連携協力を努めていただきたい。また、前年度より指摘のあった事項に関して、見直し及び改善されている点については評価できる。以前より継続している改善点としては、生徒や保護者等へのアンケートが不十分であることがあげられる。アンケート自体は行われているが、回答率が非常に少ないので、それぞれの声をしっかりと聞き、適切な学校運営に邁進していただきたい。			

評価項目については、「優れている」、「良い」、「おおむね満足」、「要改善」、「注意」の基準で評価しています。